

## 第 17 回全日本パラ卓球選手権大会(肢体の部)ドーピング・コントロールについて

1. 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本大会参加者は、本大会に申込をした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
3. 20 歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する 親権者からの同意書を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
4. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動 終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構のアスリート向けウェブサイト(※)にて確認すること。

※ <https://www.realchampion.jp/>

(こちらは日本肢体不自由者卓球協会ホームページ上にリンクがあります)

ドーピング・コントロールに関する協会問い合わせ窓口:[classjptta@gmail.com](mailto:classjptta@gmail.com)